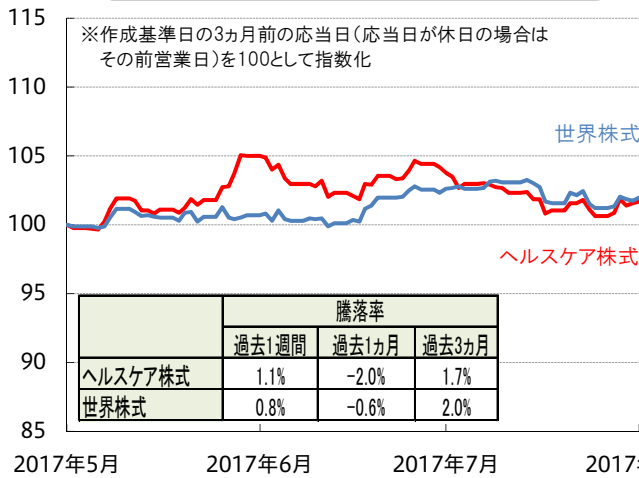


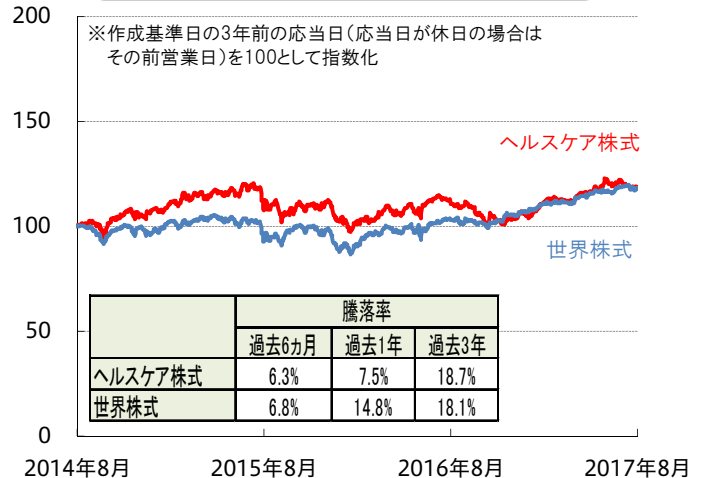
# ヘルスケア・バイオ株式マーケット関連情報

## ヘルスケア・バイオ株式マーケット情報

株価の推移と騰落率(過去3カ月)



株価の推移と騰落率(過去3年)



ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)

各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)

銘柄名	騰落率	ワールド	ヘルスケア	エネルギー	素材	資本財	消費財	生活必需品	金融	情報技術	電気通信サービス	公益
ヒクマ・ファーマシューティカルズ	15.1%	19.5	19.0	163.5	47.1	20.2	13.5	12.3	15.2	21.0	22.3	13.5
テザロ	11.0%											
クインタイルズIMSホールディングス	7.9%											
マリノット	7.2%	17.2	17.1	25.2	16.9	17.3	16.9	20.5	13.3	19.6	14.6	16.9
ルントベック	5.9%	14.4	14.5	16.3	14.8	14.8	14.0	17.3	11.2	15.8	12.7	15.5

(出所)Bloomberg

\*「1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想」の計算において、実績EPSが非常に小さい場合、1株当たり利益成長率が非常に高く表示される場合があります。

### ■マーケットコメント

・先週(2017/8/21~2017/8/25)は、世界株式、ヘルスケア株式は共に上昇しました。  
 世界株式は、週前半は米国の税制改革進展に対する期待などから上昇しましたが、週半ばにかけてはトランプ米大統領がメキシコ国境の壁建設のための予算が確保できなければ政府機関の閉鎖も辞さないと言及し、政権運営への懸念から下落しました。その後は週後半に開催された経済シンポジウムで、イエレン米連邦準備制度理事会(FRB)議長の講演がタカ派的なトーンにならなかったことを背景に上昇し、週前半の騰勢を維持しました。セクター別では、素材やエネルギーなどが上昇しました。  
 ・ヘルスケア株式は、ライフサイエンス・ツール/サービスやバイオテクノロジーなどが上昇しました。

### ■ヘルスケア・バイオ関連トピック

「血液1滴から13種のがんを発見する技術」  
 国立がん研究センターは2017年8月から、そんな技術の実用化を目指した臨床研究を始めます。これは、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)が2014年から国立がん研究センターや民間企業など9機関と共同で始めた国家プロジェクトの成果に基づくもので、対象とするがんは、胃がん、食道がん、肺がん、肝臓がん、胆道がん、脾臓がん、大腸がん、卵巣がん、前立腺がん、膀胱がん、乳がん、肉腫、神経膠腫の13種。3年後の実用化を目指しており、実用化すれば、今まで以上に早期のがんを発見することが可能になると期待されています。

(出所)各種報道を基に三菱UFJ国際投信作成

「株価の推移と騰落率」ヘルスケア株式：MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス、世界株式：MSCI ワールド・インデックスはいずれも税引き後配当込み、トータルリターン(米ドルベース)。また、作成基準日のそれぞれ1週間前、1カ月前、3カ月前、6カ月前、1年前、3年前の応当日(応当日が休日の場合はその前日)と比較しています。

「ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)」MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスの構成銘柄のうち、作成基準日と作成基準日の1週間前応当日(応当日が休日の場合はその前日)が比較可能な銘柄の騰落率上位5銘柄を集計。

「各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)」MSCI ワールド・インデックス(米ドル建て)及びMSCI ワールド・業種別・インデックス(米ドル建て)の1株当たり利益(EPS)を使用。予想値はBloombergのものを使用。※PER(倍)：株価収益率。※1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想：作成基準日の前年の1株当たり利益(EPS)に対する現在の会計年度の3期先の予想EPSの伸び率を三菱UFJ国際投信が年率換算。

※3期先予想PER(倍)：現在の会計年度の3期先の予想EPSと作成基準日の株価を基に三菱UFJ国際投信が算出。

### 本資料で使用している指数について

●MSCI ワールド・インデックス及びその業種別・インデックス(出所：MSCI)。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的の一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

上記はあくまで過去の実績であり、将来の成果をお約束するものではありません。また、個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

### 本資料のご利用にあたっての注意事項等

■本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。